| 所属 | 看護医療学部<br>看護学科 | 職位 | 助教 | 氏名(学位) | 鈴木茉央　　(修士　看護学) |
|---|---|---|---|---|---|
| 所属学会 | 愛知県母性衛生学会、日本看護研究学会、日本思春期学会 | | | | |
| 専門領域 | 母性看護学 助産学 | | | | |
| 研究テーマ | 家庭での性教育 | | | | |

Ⅰ　主な教育活動

教育実践上の主な実績

| | |
|---|---|
| 1　教育･内容の工夫（授業評価等を含む） | 学生が修得すべき知識や技術について、理解できるようにポイントを押さえながら指導を行った。シュミレーションモデルを使用し、デモンストレーションを行いながら、実際の臨床での援助をイメージできるように工夫した。 |
| 2　作成した教科書、教材、参考書 | 授業で使用する技術演習動画（妊婦検診・新生児のフィジカルアセスメント・沐浴等）を作成し、学生の事前学習、事後学習を効果的に行った。 |
| 3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | 共同研究にて、看護学部におけるパソコンの必須化や電子書籍の導入に伴う ICT ツールの活用状況や習熟度、学生の困りごとへの対応等から、初年度の課題を明らかにした。(第 33 回日本看護教育学会で発表) |
| 4　その他教育上特記すべき事項 | 特になし |

Ⅱ　主な研究活動

| 種別 | 著書・論文等の名称 | 単著<br>共著 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称 | 編者・著者名（共著の場合のみ記入） | 頁数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 修士論文 | 小学生の男児をひとりで育てる母親の家庭での性教育にまつわる経験 | 共著 | 2023 年 3 月 | 名古屋市立大学大学院看護学研究科博士前期課程 修士論文 | 鈴木茉央 門間晶子 | |
| 紀要 | ICT を活用した看護学教育の現状と課題 | 共著 | 2023 年 9 月 | 金城学院大学論文集 20(1) | 藏本直子 田尻涼太 磯野洋一 鍋島純世 坪井秀介 鈴木茉央 上杉裕子 市川誠一 | |
| 紀要 | 看護理論の実践への活用に関する能力の育成ー学生の認識に焦点を当ててー | 共著 | 2023 年 9 月 | 金城学院大学論文集 20(1), | 鍵小野美和 鈴木茉央 柴田年広 中村恵理 堀口久子 足立はるゑ | 1-13 頁 |

| Ⅲ　主な学会活動 | | | |
|---|---|---|---|
| 発表(報告)名等 | 単独<br>共同 | 発表年月 | 学会名等 |
| 助産師が性教育を実施するうえで心掛けていること | 共同 | 2019 年 9 月 | 第 3 回日本ヒューマンヘルスケア学会学術集会 |
| 小学生男児をひとりで育てる母親の家庭での性教育の経験 | 共同 | 2023 年 8 月 | 第 49 回日本看護研究学会 |
| 女子大学生とともに行う子宮頸がん予防啓発活動の実践 | 共同 | 2024 年 10 月 | 第 38 回日本保健医療行動科学会学術大会 |

| Ⅳ　社会における主な活動 | |
|---|---|
| 活動期間 | 活動内容等 |
| 2023 年 4 月～2025 年 2 月 | 大学コンソーシアムせと「新しい文化創造プロジェクト」への参加<br>プロジェクト名：AYA 世代女性の子宮頸がんリテラシー向上をめざす地域連携プロジェクト |